

＜めざす子どもの姿＞ 【自立の根っこづくり】

3つの宝をもって丸子中央小学校を卒業できる子ども

1) 自律した自分 【ねばり】

興味・関心のあることに取り組み、学習したことを活用できる子ども

2) 協働できる仲間 【思いやり】

互いのよさや違いを認め合い、考えを交流しながら、心や体を働かして友達と共に学ぶ子ども

3) ふるさと丸子 【知恵】

地域の文化や人を知り、未来に向かって地域を大切にする子ども

＜上田市教育大綱＞

「燦と輝く上田の未来を紡ぐ人づくり」

子どもたちの将来の礎となる「豊かな心と生きる力」を育みます

＜保護者・地域の願い＞

- ・友達や先生と仲良く生活し、楽しく学校へ通ってほしい
- ・学んだことを身に付け、確かな学力を高めてほしい
- ・友達、先生、地域の方に自分から元気にあいさつしてほしい
- ・丸子地域の自然、歴史、文化、産業などを学び、ふるさとのよさを知ってほしい

【学校教育目標】 **かしこく やさしく ひたむきに**

【本年度の重点目標】 **「知恵・ねばり・思いやり」**

『やりたい！が実現できる
笑顔かがやく楽しい学校』

具体的な取組

丸子小中学校9年間の見通しをもった学びの創造
～ 子どもを中心に、地域と共に歩む ～

考え合う楽しさ（共学の推進）

「知恵」

- 子どもの興味をもとに、地域を題材とした探究的な学びの充実。
- ペア・グループ学習を取り入れる等多様な学び方の工夫。（学び合い）
- 「問い」を大切に、授業の流れが分かるノート（板書）づくり

やり続ける粘り強さ

「ねばり」

- 「体みがき」「わくわくマラソン」等の運動を根気強く継続して取り組める活動の充実。
- 児童会活動と連携し、清掃や奉仕活動、係活動等を通して、役割を担うことの大切さや労働に対する意識の醸成。

（温かい）プラスの言葉・行動

「思いやり」

- 愉しくけじめある学校生活づくりに向けて、「笑顔の挨拶・返事・靴そろえ・腰骨を立てる」を習慣化。
- 交流活動を充実して、子ども同士が学び、温かい言葉をかけ合いながら、自己肯定（有用）感の向上。

異年齢との交流活動で
心をひらき友達とつながる

地域と共にふるさと丸子と
つなぐ（CS・体験活動）

キャリア教育で未来につなぐ

人権同和教育で心をみがく
（全教育活動の基盤）
9年間の見通しをもって

問う

つなぐ

探究

活かす

考える・振り返る

音楽で心をみがく

体育で心と体をみがく

健康教育で心と体をみがく

花と緑で心をみがく

地域と共に学び探究のサイクルを回す

- ①課外活動 合唱・金管
- ②地域自然 畑・川・丸子公園・西内小校舎
- ③地域ボランティア 丸っ子応援隊 あさつゆ クラブ活動

多様性を包み込み、「視覚的・具体的・肯定的支援」を視点に「授業のユニバーサルデザイン」の実現

＜授業づくりの研究テーマ（全校研究テーマ）＞

子ども自らが 考え合い、学び合う授業づくり

重点研究

願いと必要感を持った研修・研究

- 授業を見合いながら、対話を通して互いに高める。
- 各自の強みを生かし「チーム中央小」として支え合い、語り合い学び続ける職員会「創造のサイクルづくり」